

令和6年度 岐阜聖学校保護者等アンケートの結果(学校運営委員会委員を含む)

全体(69名中50名)

番号	項目	1. よくあてはまる	2. ややあてはまる	3. あまりあてはまらない	4. まったくあてはまらない	5. わからない	全体(69名中50名)		
							1, 2あてはまる%	3, 4あてはまらない%	5わからない%
教育方針	1 学校の教育目標や指導方針に共感できる。	35	12	1	0	2	94%	2%	4%
	2 学校は、幼児児童生徒一人一人のよさや可能性を伸ばせるような工夫をしている。	28	19	1	0	1	94%	2%	2%
	3 学校は、特色ある教育活動に取り組んでいる。	27	19	0	0	4	92%	0%	8%
	4 学校では、先生と幼児児童生徒が信頼し合って活動している。	29	18	0	0	3	94%	0%	6%
	5 学校は、保護者(地域)が先生にいろいろなことを相談しやすい雰囲気である。	28	19	0	0	3	94%	0%	6%
	6 学校は、いろいろな人と交流を大切に、幼児児童生徒の経験を広げている。	30	17	0	0	3	94%	0%	6%
家庭との連携	7 学校の教育方針や指導の内容を通信やHPを活用しながら保護者(地域)へわかりやすく伝えている。	26	21	0	1	2	94%	2%	4%
	8 学校は、自校の教育活動に関する自己評価をHPなどで保護者(地域)へわかりやすく伝えている。	20	23	0	1	6	86%	2%	12%
	9 学校は、幼児児童生徒の様子等について、保護者への連絡や意思疎通を積極的に行っている。	28	19	1	1	1	94%	4%	2%
	10 学校は、授業や学校行事等を参観する機会を設けて、学校の様子(教育活動)について積極的に公開している。	35	11	2	0	2	92%	4%	4%
	11 学校は、進路に関する連絡や情報提供を幼児児童生徒や保護者に向けて積極的に行っている。	29	16	3	0	2	90%	6%	4%
	12 学校の先生と幼児児童生徒あるいは保護者との懇談が十分に実施されている。	34	10	2	0	4	88%	4%	8%
	13 学校の先生は、個別の教育支援計画を保護者や関係機関と連携して作成し、将来を見通した支援をしている。	37	12	0	0	1	98%	0%	2%
教職員	14 学校の雰囲気がよく、教職員は協力し合って、生き生きとしている。	28	16	1	0	5	88%	2%	10%
	15 学校の先生は、礼儀正しく、親切で親しみがもてる。	32	14	2	0	2	92%	4%	4%
	16 学校の先生は、幼児児童生徒に愛情をもち熱心に教育に取り組んでいる。	31	13	3	0	3	88%	6%	6%
	17 学校の先生は、専門的知識が豊かで、教師としての資質を身につけている。	27	17	1	1	4	88%	4%	8%
	18 学校の先生は、社会常識を身につけており、相談などしやすい。	26	20	2	1	1	92%	6%	2%
	19 学校の先生は、幼児児童生徒の実態を的確に捉えている。	24	20	2	1	3	88%	6%	6%
	20 学校の先生は、保護者との連絡に「すくーる」(メールソフト)を活用するなど働き方改革に努めている。	32	15	0	0	3	94%	0%	6%
授業	21 学校の授業内容や進度は、幼児児童生徒の実態に合っている(即している)。	21	23	0	1	4	88%	2%	8%
	22 学校の授業には、体験的な活動が取り入れられ、幼児児童生徒は意欲的に取り組んでいる。	30	17	0	0	2	94%	0%	4%
	23 学校の授業は、幼児児童生徒一人一人に合った教材・教具の準備や工夫がされている。	23	19	1	1	5	84%	4%	10%
その他	24 学校では、体罰の調査などを防止に努めている。	28	11	2	0	8	78%	4%	16%
	25 学校では、いじめ調査などを差別を許さず、厳しく対応している。	26	13	2	0	8	78%	4%	16%
	26 学校は、進路指導において関係機関との連携をきめ細かく行っている。	21	14	1	0	13	70%	2%	26%
	27 学校は、医療機関と常に連携を図って、児童生徒の健康管理に気を配っている。	25	17	2	0	5	84%	4%	10%
	28 学校は、幼児児童生徒の安全に気を配り、緊急時の対応がしっかりしている。	29	15	2	0	2	88%	4%	4%
学校独自の項目	29 部活動の各種大会参加や外部への作品応募を積極的に行っている。	25	12	0	1	11	74%	2%	22%
	30 幼児児童生徒の自立に向けて、幼稚部から高等部まで一貫した教育を行っている。	28	17	0	0	4	90%	0%	8%
	31 情報機器(パソコン・タブレット・プロジェクター等)を有効に活用し、視覚情報を得やすい授業を積極的に行っている。	31	13	1	0	4	88%	2%	8%
	32 各種資格試験・検定試験に積極的に取り組むよう指導・支援を行っている。	28	12	1	0	8	80%	2%	16%
	33 居住地圏・居住地校や近隣校・施設との交流を積極的に行っている。	25	18	3	0	3	86%	6%	6%

【分析及び課題】今年度、項目を一部見直して評価を頂き、90%以上の高い評価を得ている項目が半数以上となりました。特に94%以上の評価のうち「7」「9」については、学校の教育活動を学級通信や学校だよりでお伝えすることで、学校と保護者が連携して幼児児童生徒への支援ができていると評価されました。また「22」「30」においては、特色ある学校教育活動として、幼稚部から高等部専攻科まで学校行事や校内の交流により、部を越えてつながり、新たな学び合いの機会が生まれたことが、高評価の要因になったと思われます。さらに、新型コロナウイルス感染症の制限緩和により、体験的な活動を多く取り入れられるようになり、幼児児童生徒たちの意欲的に取り組む姿が伝わり、高評価が頂けたと考えます。

次に課題として「わからない」が多い「26」の進路指導においては、個々に応じた対応だけでなく、年齢や学年に応じたキャリア教育の状況をしっかりと伝え、理解・協力を得られるよう取り組んでいきます。また、「29」の部活動の大会・作品展への取組については、幼児児童生徒が意欲的に参加できるように積極的な情報発信や目標設定などを行い、それらの取組の様子や実績などもHPに掲載し、理解につなげていきます。他にも、外部の行事などの情報提供も行き、積極的な社会参加につなげていきたいと思います。